

みどりみらい ぐんじとしのりの議会報告

2001/11/01 Vol. 80 西の原 2-3-6-104 TEL/FAX 45-8362
E-MAIL ID / toshigunji@hotmail.com

印西市議会/平成 13 年第 3 回定例会報告 (3)

いつもお世話になっております。印西市議会(9月定例会)は、9月27日(木曜日)にて終了しました。今回も引き続き、9月定例会の報告を行って参ります。今回は、9月議会で議案となった案件について、そして高校誘致についての活動のご報告を行わせていただきます。

議案審議とその結果(2)

印西市道路線の認定について

(結果/可決 ・ ・ 私は反対しました。)

(解説) 高花地区 15ヶ所を含む 25ヶ所の市道認定を行いました。新住宅市街地開発事業に伴う道路等は都市基盤整備公団と千葉県企業庁が整備し、印西市に移管されてきました。これまでは、住宅建設等まちづくりの成熟度が 80%程度状態で、印西市に道路管理が移管されてきました。しかし、今回の議案では、成熟度が 50%程度であっても市に移管を受けるとの説明がありました。(執行部から議案の説明で「今後のまちづくりもあり、公団や企業庁との信頼関係が大事であり、この程度でも移管を受け入れたい」とのコメントがありました。) ~ 一体 市は何を考えているのでしょうか? 市民の為の市政運営を行うべきであって、公団や企業庁の立場にたつての運営はすべきではありません。市は負担が増えて行く、このような移管に際しては、公団、企業庁に対して十分な説明を求め、市の運営方針を明確にし、市民との信頼関係を第一に考えて議事にすべきです。

< 請願 > 市道 17-001 号線の保全と地下水汚染の危険を守るための請願

(結果/採択(全員))

(請願項目)

1. 印西市は、市道に無許可で設置された塩ビ管を直ちに撤去し、道路法に基づく市道の保全責任を明らかにしてほしい。

1. 印西市は、印西市環境保全条例に基づき、違法建築物から撒き散らされる生活廃水・し尿を取り締り、地下水汚染の危険から市民の安全な暮らしを守って欲しい。

1. 違法な無許可建築物を放置せず、直ちに撤去すること、違法建築物での営業を取り締ること、また、一時転用による残土の処分・盛土後の畑地復土に対する監督を厳しく実施し、乱開発を防ぐ為に監督官庁である千葉県等に意見書を送付して欲しい。

(解説) この請願は印西市北東部の平岡上流作の印西動物病院院長より提出されたものです。私は実際に現地を見に行きましたが、この場所は人が通ることもない(できない?)名前だけの市道であり、市の保全責任をきっちりと追求すべきある。井戸を本当に使えるのかと思うほど、不衛生きわまりない現状の改善は不可欠である と考えました。

また、この請願が出された後、この請願の審査が付託された市民経済常任委員会、都市建設常任委員会、農業委員会等の現地視察を経て、議会での全員一致を得て、県への意見書の提出も行われました。

「新しい地に高校建設を」

印西市議会高校問題協議会が開催されました。

私が所属するまちづくり研究会(松本隆志代表)では、高校の誘致に関して、千葉県の公立高校の設置が認められないのならば、私立高校の誘致はどうだろうか?ということを選択肢の一つに考えております。そこで、今回、会派「まちづくり研究会」として、京都に本拠をおく、学校法人「立命館」が 1996 年に北海道に高校建設をした体験をお聞きしようと

ということで、設立から現在の学校運営にまでかかわっている、元立命館学園理事、現「立命館慶祥高校（江別市）」の高杉巴彦校長をお招きし、協議会を9月17日(月曜日)に開催していただき、議員や市の職員を招いて、講演を行いました。

この講演では、学校作りのあり様についての概要を以下のような視点からご講演いただきました。

1. 教育をめぐる全国情勢について
2. 地域の情勢とニーズ、マーケットリサーチ
3. 行政の協力・共同の関係
4. 環境アセス等調査
5. 学校造りのコンセプトづくり
6. 資金と財政基盤
7. 人材の確保とスタッフの意識改革 - 教職員集団の現代的有り様
8. 国際水準の変化と教育情勢に的確に対応する理事会

(解説) もともと千葉ニュータウンには、高校は4校の新設の予定があり、そのうち実際に開校されたのは「白井高校」だけです。その他の3校は用地の確保はされていますが、具体的な建設計画もなく、その用地でさえ、ニュータウン計画の見なおしの中で、用途変更の対象になっております。また、印西市内には、「印旛高校」があります。ニュータウン地区からは交通手段も限られ、また最近の入学者をみると、1次募集では定員に達せず、どう活性化させるかが問題となっております。(千葉県では、高校の統廃合が検討もされております。以下に骨子案を掲載します。)

< (参考) 千葉県教育委員会の高校計画骨子案 >

県立高校を 142校(2002年度)から125校~130校へ
単位制高校の設置
中高一貫教育校の設置
総合技術高校(仮称)の設置
芸術高校(仮称)の設置
情報高校(仮称)の設置
女子校の男女共学化
インターナショナルスクールの検討
フリースクールの検討

高校の誘致に関して、皆さんはどのようにお考えになりますか。

なお、この講演に先立ち、校長先生に、印西市と印旛村境にあります、「造谷」地区を視察いただきました。(進出の可能性は低いのが事実です。)そして、立命館が目指すもの、「立命館慶祥高校」の教育目標、教育水準についてもご講演をいただきました。

< (参考) 立命館慶祥高校の教育水準 >

「21世紀に対応する人類の知識と技術水準の到達点をしっかりと学び取る生徒の育成」
「地球市民としての問題、課題意識を持ち、自主的に目標を設定して挑戦していく姿勢を持った生徒、そうした自主的課題設定のできる生徒の育成」
「集団のなかでの人格の形成、高い人権意識や豊かな情操をもった生徒の育成」等

* 私の選挙公約の一つが「大学へのエスカレータ高校の誘致」です。

いつもご声援、ご支援ありがとうございます。この紙面へのご批判、ご意見もお待ちいたします。よろしく願い申し上げます。 ぐんじとしのり